

平成 29 年度
生徒海外研修報告書



- ◆ 研修先 台湾
- ◆ 研修日 平成 29 年 8 月 20 日 (日) ~ 8 月 24 日 (木)
- ◆ 参加者 鈴木 咲 (34HR) 廉 麻結香 (34HR)
- 長田 茉南佳 (32HR) 勝間田 未結 (22HR)
- 佐藤 来美 (22HR) 大坂 里優 (25HR)

◆事前研修 8回 内容

- (1) 昨年度参加した研修生からのプレゼンテーション
- (2) 台湾に関する事前プレゼン発表(テーマ・発表者)
「台湾の自然」・勝間田未結 「台湾の歴史」・廉麻結香
「台湾の文化」・大坂里優 「台湾の経済」・長田茉南佳
「日台関係」・佐藤来美 「台湾の時事問題」・鈴木咲
- (3) 英会話レッスン(講師:大場 教諭)
- (4) 中国語レッスン(講師: 林 講師)
- (5) 士林商業高校との交流会計画・ダンスレッスン



◆台湾研修日程概要

8月20日(日)

三島駅集合 → 静岡駅 → 静岡空港 → 台湾・桃園空港
→ サントスホテル到着

8月21日(月)

- 台北市立動物園見学
- パイナップルケーキ工場見学・体験
(維格餅家)
- 三井アウトレットパーク(三井不動産)
訪問・研修 日本人駐在員講話・見学
- 士林夜市散策



8月22日(火)

- 台北市立士林高級商業職業学校訪問・交流
- 台北市内研修(中正紀念堂～龍山寺)
- 静岡県台湾事務所職員との夕食会

8月23日(水)

- 台北市内班別自由研修
(現地大学院生ガイドの案内)
- 九份訪問・研修



8月24日(木)

○ 故宮博物館見学 → 桃園空港 → 静岡空港 → 三島駅 解散

◆目的

この事業は、静岡県立沼津商業高等学校同窓会が定める「沼津商業振興育英基金及び運営に関する規則」に基づき、海外研修事業の推進を図ることを目的とする。

本校に在学する生徒に、海外での異文化体験と国際交流の機会を提供することにより、将来、世界的視野に立って地域を担うグローバル人材の育成を図るとともに、国際理解教育の推進に資する。

8月22日（火）場所：士林高級商業職業学校

氏名 佐藤 来美

3日目の日程 学校交流→中正紀念堂→龍山寺→会食

3日目は台湾の士林高級商業職業学校の生徒と交流をしました。私は、人見知りで英語もあまりできないので、台湾の学生と仲良くなれるのか不安で前日から緊張していました。しかし、学校に着くと生徒と先生方が私たち



を温かく迎えてくれました。最初に中国語で自己紹介をして、その後お互いにパフォーマンスを披露しました。先に士林高商の学生が日本語で「キセキ」の合唱と恋ダンスを披露してくれました。きれいな日本語でした。次に

私たちが恋ダンスを披露しました。歌の最後に校長先生が登場するところまで完璧にできました。台湾の学生と一緒に踊ったので楽しかったです。続いて、教室や施設を紹介してもらいました。土足で廊下を歩くのは不思議な感覚でした。次にドッチビーをやりました。ゲームを通してより仲良くなれました。

お昼ご飯の台湾そば、中華スープを一緒に作りました。台湾で有名な「50嵐」のミルクティーも飲みました。台湾のミルクティーは甘くて濃厚でした。台湾の麺は長くておいしかったです。最後にお土産交換とLINE交換をしたりして短い時間だったけど濃い時間でいい思い出になりました。仲良くなれたのでお別れをする時はとても寂しい気持ちになりました。台湾の生徒と言葉の壁を感じないくらい楽しく話せました。台湾の学生は、明るくて親切でした。あと、英語の大切さが分かりました。もっと英語の勉強をしないといけないと思いました。



次に中正紀念堂に行きました。蒋介石の大きな銅像と兵隊を見ました。兵隊さんは蒋介石の銅像の前に1時間、瞬きをしないで動かずに立っていないといけないので想像ができないくらい大変だなあと思いました。その次に龍山寺に行きました。おみくじは日本とは違い、引いた番号の引き出しに入っている紙を取るシステムで面白かったです。



夜は、静岡県台湾事務所長の宮崎さんと食事をしました。宮崎さんは、台湾の魅力を話してくださりより台湾が好きになりました。台湾で静岡県の可愛いゆるキャラを使って宣伝をしていることが分かりました。静岡県にたくさんの台湾人がきてほしいなあと思いました。



【富士園仔】 【静岡兄弟】 【静茶杯杯】

8月22日

氏名 鈴木 咲

3日目の日程 学校交流→中正紀念堂→龍山寺→会食

台北市立士林高級商業職業学校に行きました。とても楽しみな気持ちもありましたが、生徒代表の挨拶を控えていたので不安と緊張がありました。でも、実際行ってみると、生徒全員が笑顔で出迎えてくれたり、ペアの生徒が日本語で上手に話しかけてきてくれたので緊張がほぐれました。パフォーマンスは曲がかぶってしまいましたが、失敗なく踊ることができたと、台湾の生徒たちと一緒に踊ってくれたので盛り上がる事ができてよかったです。日本のことについても、たくさん質問されました。日本のアニメや文化のことなどとてもたくさん知られていることが分かって嬉しかったです。

校内の色々な場所も案内してもらい、士林高商の立派さが良くわかりました。台湾の生徒の中には日本語を上手に話す人がいま



したが、会話は英語ですることが一番多かったと思います。私は英語に自信がないので心配でしたが、ジェスチャーや簡単な単語でもコミュニケーションをとることができました。私がこんなに積極的になれたのは、言葉の壁を感じないくらい台湾の生徒が場を盛り上げ、話しかけてくれたからです。この交流で積極的に会話できたという経験から、自分に少し自信を持つ

ことができ、苦手な英語も頑張ろうと思えるようになりました。ドッチビーという遊びをしてさらに仲を深めることができました。私が活躍すると、ペアの緑笛さんがゲーサインを出してくれて、お互い笑い合うこともできました。ペア以外の生徒とも交流ができたのでよかったです。



お昼は台湾そばと中華スープをみんなで一緒に作って、具材を切ったりするのをやらせてもらいました。台湾語でおいしいという言葉「好吃」(ハオツー)を教えてもらって、たくさんの感謝も伝えることができました。

プレゼント交換をした時には、私が用意したプレゼントをとても喜んでくれて、「ありがとう」と日本語で言ってくれました。お別れが近づいていたので嬉しい気持ちと寂しい気持ちがありました。ペアの生徒からもらったプレゼントは写真と一緒に部屋に飾りました。帰り際にみんなで写真を撮ったりハグをしたりしました。寂しいと伝えてきてくれた時は本当にこの研修に参加してよかったですと思えました。

夕食は静岡県台湾事務局長の宮崎さんと四川料理を食べました。料理は少し辛目のものが多かった気もしますが、日本人の口に合うものばかりでとてもおいしかったです。宮崎さんとは高校生活の話や、なぜこの研修に参加したのかなどたくさんのお話をしました。宮崎さんからは、台湾で静岡の名を広めるための具体的な活動についてお話を聞くことができました。

8月22日（火）場所：士林高商・中正記念堂

氏名 勝間田未結

3日目は一番楽しみだった、士林高級商業職業学校の生徒たちとの交流がありました。バスが学校に到着すると、士林高商の皆さんがお出迎えをしてくれていました。皆さんとても優しく、私たちのことをとても歓迎してくださいました。歓迎式



では両校がパフォーマンスをすることになっており、私たちも前から練習していたダンスを披露しました。士林の学生も同じ曲でパフォーマンスをしていたので焦りましたが、急遽一緒に踊ったことでより仲



良くなれた気がして嬉しかったです。校内を案内してもらった時にも、沼商との違いがたくさんあり驚きました。初めに気が付いたのは、生徒たちの髪型です。沼商では厳しいルールがあり、あまり自由にはできませんが、士林の学生は自分の好きな髪形・髪色にしていました。女子は制服もズボンとスカートで選べるそうで、生徒の自由を尊重しているのがわかりました。図書室は開放的で広く、一角に日本の漫画が置いてあり、とても人気があると聞きました。

昼食は士林の学生と一緒に台湾まぜそばを作りました。みんなで協力しながらおいしいお昼ご飯を作ることができました。作っている間に、学生たちとたくさんのお話をすることができました。日本の映画やアニメはとても人気で、台湾でも日本とほぼ同時期に台湾語版を見ることができそうです。食事中には日本の歌手が歌う曲を流していて、知名度の高さが窺えました。食事が終わった後の片付けは、生徒たちが流しで食器を洗うなど、自分たちで行いました。

部活動も日本ではあまりないものがあり、私たちが見せてもらったのは儀仗隊という旗やリボンを使ってパフォーマンスを行うものでした。台湾のセレモニーの時に行われる有名なものだそうです。自分が言いたいことを伝えることがこんなにも難しいとは思いませんでした。他人に何かを伝えたい時は、自分が持っている力を全て出さないとなりません。これは日本



人同士でも当てはまることだと思います。自分の主張を最大限にして、同時に相手が何かを言う時は最大限理解しようとするべきだと感じました。積極的に行動することの大切さを実感しました。

その後は中正記念堂へ行きました。台湾人が尊敬する蒋介石の一生を知り、いま日本と台湾が仲良くできているのは彼のおかげだと思いました。龍山寺にも行きましたが、日本のお寺との違いがいくつかありました。お線香がとても長いことや、念仏を



8月22日(火)

氏名 大坂里優

3日目の日程 台北市立士林高級商業職業学校との交流→龍山寺→中正記念堂→静岡県台湾事務所の職員の方との夕食会

この日は1番緊張した日です。現地の高校生と交流するのは、年齢が近いということもあり楽しみでしたが、うまくコミュニケーションが



とれるか不安もありました。士林商業学校に着くと、温かく出迎えてくだ



さいました。現地の高校生は積極的に話しかけてくれたので私も話しやすかったです。私はできるだけ中国語を使って話してみようと努力しましたがうまく伝わらないこともあって言葉の壁を感じました。ですが、士林高商の生徒が紙に英語で質問を書いてくれたので、なんとかコミュニケーション

を取ることができました。慣れない英語で話しかけ、それが相手に伝わったときは、とても達成感を感じました。「恋ダンス」を一緒に踊ったり、台湾料理を一緒に作ったり、ゲームをしたりと、とても有意義な時間を過ごすことができました。楽しい時間が過ぎるのはあっという間で、すぐにお別れの時間が来てしまいました。短い時間だったけれど、とても仲良くなれたので、お別れが寂しかったです。私たちの乗ったバスが見えなくなるまで手を振ってお見送りをしてくれて、また会う機会が欲しいな、と強く感じました。



そのあとは龍山寺に行きました。そこでは学業についてのお願いをしました。台湾のお寺では本堂を囲むように人が座っていて、そこで皆が正座をしてお経を唱えていました。日本との文化の違いを感じました。

龍山寺の後に行った中正記念堂の光景は今でも忘れることができません。衛兵交代を見て、なんとも言えない気持ちになりました。日本には軍隊の制度がないので、軍隊というものの厳しさを知ることができました。



ホテルに着いてからの夕食会では、静岡県台湾事務所の所長 宮崎さんから、静岡県のPR活動についてのお話を聞きました。台湾と日本は、たくさんの事で繋がっている、ということを感じました。この日の夜は、皆で部屋に集まって楽しく賑やかに過ごし、とても充実していました。台湾研修を受けてよかった、と改めて感じた一日でした。

8月22日（火） 場所：士林高商など

氏名 廉 麻結香

3日目は朝早くから士林高級商業職業学校との交流がありました。両校の交流会は、パフォーマンスでの出し物が互いに星野源の「恋ダンス」でした。とても楽しかったです。始めは言語が通じず、笑顔や相槌しかできなかつたけれど、昼食を一緒に作ってからは距離が一気に縮み、徐々に話せるようになりました。別れの時は本当にさみしかったです。連絡先を交換したので8月9日とLINEで連絡を取っています。旅行に行ったとしても現地の方と知り合いになるということはなかなか無いことなので、貴重な体験をさせていただいたと思っています。



始めは学校のことや言葉を教え合ったり、自分の国について話していましたが、進路のことや趣味について話したりするようになりました。学校が始まってから互いに忙しいので、連絡はできていませんがこの縁を大切にしたいと思っています。

学校交流が終わったあと、中正紀念堂に行きました。ここで衛兵交代を見たのですが、この衛兵さんを補佐するのに真っ黒の恰好をしたひとが交代時間の少し前に合図を送ったり、観光客を誘導したりしていました。衛兵は本当に瞬き一つしないので驚きです。交代したあと黒服の方が動いて乱れた衛兵の服を直しているのを見て、本当に人形のように見えました。



その後、ホテルに戻り静岡さんと一緒に四川料理を食べ

県台湾事務所長の宮崎ながら静岡のことや台湾のことについて話し合いました。

とても明るく気さくな方でたくさんお話しできました。いただいた名刺には宮崎さんの似顔絵が載っていて、台湾ではキャラクターを用いてビジネスをすると良いということを知りました。あっという間の交流でした。

8月22日(火)

氏名 長田 茉南佳

8月22日 台湾に着いて三日目は、台北市立士林高級商業職業学校に行きました。バスから学校が見えた時にはもう正門の前に生徒や先生方がたくさんいて出迎えてくれました。私の名前を書いてくれたネームプレートを持った生徒が日本語で名前を呼んでくれました。着いてすぐに図書館に連れて行ってもらいました。映画に出てくるような広い図書館でした。そこで両校の校長先生や代表生徒、研修生徒紹介や挨拶をしました。そのあとにパフォーマンスをしました。まさかの「恋ダンス」被りをしてしまい一緒に踊ってくれました。士林高商の生徒達は日本語で「キセキ」も歌ってくれました。すごく上手でした。そのあとは士林高商の生徒たちが学校内を案内してくれました。校内がとても広いので回るのにかなり時間がかかったのでたくさんお話をしました。お互いカタコトの日本語と、知っている



英語で一息懸命会話をしました。LINEの通訳機能を使ったり紙にイラストを描いたりもしました。台湾の方々はとても積極的に話しかけてくれたので緊張せず仲良く話せました。他にも靴を出してくれたり持っていた物を持ってくれたりとても優しかったです。



学校紹介の後にドッチビーをしました。前田校長先生も参加していてとても楽しかったです。みんなで遊んだ後は一緒に昼食作りをしました。私は台湾そばを作る係りでした。もう作ってあって冷凍してあるのを溶かすだけで



しました。みんなで作ったご飯はとても美味しかったです。タピオカミルクティーももらえて私の中での一番は中華スープでした。わかめのスープでとても美味しかったです。その後みんなで一緒にDIYでペン入れのような箱を作りました。みんなやることを把握していてとてもスムーズに進んでいました。そして最後にお土産を交換してお別れをしました。お土産は台湾の景色のポストカードと本にはさむ銀のしおりをもらいました。最後もバスが見えなくなるまで手を振ってくれてとても寂しかったです。

学校交流の後は、中世祈念堂と龍山寺に行きました。中世祈念堂ではガイドの張さんが現地のスタッフ並に詳しい説明をしてくれました。兵隊さんの交代式も見ることができました。龍山寺では赤い糸をもらい願い事をたくさんしました。



夜に静岡県台湾事務局の方と食事会をし、台湾で静岡を有名にさせるための話をたくさん聞きました。とても役に立つ話でマーケティングに役立つと思いました。3日目は台湾にたくさん触れることができ研修の目的をしっかりと果たせたと思いました。

台北市立士林高級商業職業学校の皆様へ

御無沙汰しております。

8月22日に、学校交流で訪問させていただいた際、士林高級商業職業学校の校長先生や諸先生方をはじめ生徒の皆さんには、大変お世話になりました。温かく迎えていただきとても貴重な体験をさせていただきました。また、9月には、皆さんからの「寄せ書き」や貴校の「風楼紀事17期」を送っていただき大変ありがたく思っております。

遅ればせながら、本校からの「寄せ書き」と、先日、11月1日に、全校集会で台湾研修報告を行った時の写真と、研修生6人がそれぞれまとめた「台湾研修報告書」のうち、貴校を訪問した8月22日の報告ページを送らせていただきますので御覧ください。

また、曾騰瀧校長先生から、姉妹校としての御提案をいただきありがたく思っております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

お礼の御挨拶が遅くなり申し訳ありませんでした。

静岡県立沼津商業高等学校

校長 前田喜久子

(英語訳)

Dear staff and students of Shirin High School,

I apologize for not keeping in touch.

Thank you for all that you did while Numazu Shogyo High School students visited your school. We were very happy thanks to your warm hospitality. Our time with you was a precious experience.

Moreover, we are also glad about your messages, and school news #17. Although this letter is a little late, I am sending three things with it. First are messages from my students who visited your school. Second are pictures from when they reported about their stay in Taiwan in front of the other Numazu Shogyo students, on November 1st. Third is an essay report about August 22nd, the day we visited your school.

曾騰瀧校長様 I appreciate your wonderful offer of becoming sister schools. I look forward to a continued good relationship.

Once again, I apologize for this late correspondence.

Sincerely,

Kikuko Maeda, principal of Numazu Shogyo High School



